

2024年
9月号
✱

原水協通信 (大阪版)

国連 NGO 原水爆禁止日本協議会
毎月1回6日発行
〒113-8464 文京区湯島2-4-4
(大阪原水協)〒542-0012
大阪市中央区谷町 7-3-4
新谷町第3ビル 210号
電話 06(6765)2552
FAX 06(6765)2837



被爆八〇年へ！核兵器廃絶へ一歩踏み出そう

世界大会に参加した地域・団体の報告集会で更なる決意が固められています！



8月3日から9日まで、広島と長崎で原水爆禁止2024年世界大会が開催され、国際連合と5か国の政府代表、アメリカ、イギリス、フランスの核保有国に加えて、ドイツ、スペインといった核兵器依存国の反核平和運動の代表、そして全国47都道府県の代表を合わせてのべ1万人以上が参加し、大きく成功しました。
ウクライナでも、ガザでも、核兵器の使用をほめかけた威嚇、国連憲章違反の事態が続き、これまで世界が築き上げてきた平和と進歩への逆流が起きています。
中満泉国連事務次長は「世界情勢は危機的状況にあり、今こそ世界を正しい方向へと押し戻す時だ。核保有国に核軍縮に向けた営みの遂行を求め続けることは、皆さんの責務だ」と呼びかけました。
世界大会は、2021年に発効した核兵器禁止条約(93か国が署名)と世界の人々の声が、核兵器の使用を許さない「壁」となっている事、禁止条約を力に核兵器廃絶を実現しようという力強く訴えました。

9月26日は核兵器廃絶国際デー
毎年9月26日は国連「核兵器の全面的廃絶のための国際デー」です。
日本政府は、核兵器禁止条約に背を向け続けています。
来年の被爆80年に向けて世界とともに核兵器の廃絶を求める被爆者、核開発・実験被害者の訴え、核兵器の非人道性を大きく広げましょう。
大阪原水協では、26日に運動交流会を福祉会館で開催します。裏面のお知らせを参照してください。

広島・長崎・ビキニ被災展示パネルを活用し、 展示会・報告会・学習会を行いましょう！

大阪府内の多くのところから、パネル展の開催報告が大阪原水協に届いています。世界大会の報告集会を開く中でもパネルの展示がされるなど積極的な報告も寄せられています。非核日本キャンペーンは、「核兵器のない世界」の実現と日本の核兵器禁止条約への参加のために、人類の生存と相容れない核兵器の非人道性についての国民的な理解と合意をめざしています。

日本原水協の「広島・長崎被爆展示組写真」より11枚(広島・長崎被爆写真【白黒】9点、核実験被害【カラー】2点)に、新たに12枚(原爆投下の解説、ビキニ水爆実験被災の実相、有権者の過半数を超えた署名運動、核兵器禁止条約)が加わりました。まだまだ注文を受け付けています。大阪原水協迄注文をお願いします。

日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書決議

683自治体

(2024年7月 4日現在)

■大阪府(10):和泉市議会、泉佐野市議会、摂津市議会、高石市議会、富田林市議会、阪南市議会、河南町議会、太子町議会、忠岡町議会、岬町議会

☆ 核兵器禁止条約の署名・批准を求める 署名の到達

2024年8月22日の到達 125,478筆

大阪原水協は、毎月22日を集約日としています。

各団体・地域原水協・個人より報告をお願いします。

報告は、FAX 及びメール、署名の郵送等をお願いします。

広島世界大会に大阪から260人が参加しました！

大阪原水協では、多くの方の協力で1600本以上のペナントを普及することが出来ました。
大阪原水協に届けられた平和折り鶴ペナントは、広島大会の閉会総会の会場全体でアピールしました。参加した大阪の仲間が分担して掲げました。

⇒大阪原水協近くの保育所の子どもたちが、折り鶴をいっぱい届けてくれました。子供たちの平和への願いは世界大会当日、平和公園に届けました。
保育所の子ども達は、毎年事務所まで折り鶴を届けてくれる、かわいい平和の天使たちです。



2025年版いわさきちひろカレンダーの普及が始まります。

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1月1日	1月1日	1月1日	1月1日	1月1日	1月1日	1月1日	1月1日	1月1日	1月1日	1月1日	1月1日



2025 Calendar
いわさきちひろ

- 環境にやさしい紙で綴じるホットメルトを採用
 - 大豆を原料とした植物性インクを使用
 - A2判・絵7枚
 - 頒価1650円(税込)
- ※25本以上は送料無料となります。

大阪原水協迄申し込んで下さい。
いま、戦争や武力紛争で多くの子どもたちの尊い命が失われています。すべての子どもたちの未来に戦争も核兵器もない平和で公正な世界をの願いを広げるために運動を支え広げるようご協力下さい。また、お寄せいただいた募金でカレンダーを被災地へ届けます。

「ちひろカレンダー」の制作が始まった当時はベトナム戦争が激化、日本ではベトナム戦争反対の声が広がるなか、ちひろさんの描き下ろしの作品として制作された「ベトナムの子ども、わたしたちの日本の子ども、世界中の子どもみんなに平和とあわせを」と大書きされたポスターは大きな反響を呼びました。「ベトナムにヒロシマ・ナガサキをくり返させるな」とかかげた原水爆禁止運動のなかでも話題になり、これをきっかけに「核兵器廃絶、被爆者援護・連帯のちひろカレンダー」が生まれました。

平和へのねがいをたくして

【お知らせ】 「非核日本キャンペーン運動交流会」

9月26日(木) 18:30～ 社会福祉会館

各団体・地域で取り組んでいる活動の交流を行います。

